

スラブリセットモルタルの特徴

①20℃で硬化時間30～35分（製造管理値）

→大量施工の際にコールドジョイントが出来難い

②補修箇所床面温度60℃でも施工が容易（施工実績）

→15分～20分程度の作業時間確保可能

③低温時でも短い時間で硬化がスタート（施工実績）

→10分～15分程度の作業時間確保可能

④現場で用意する材料はスラブリセットモルタルと水だけ

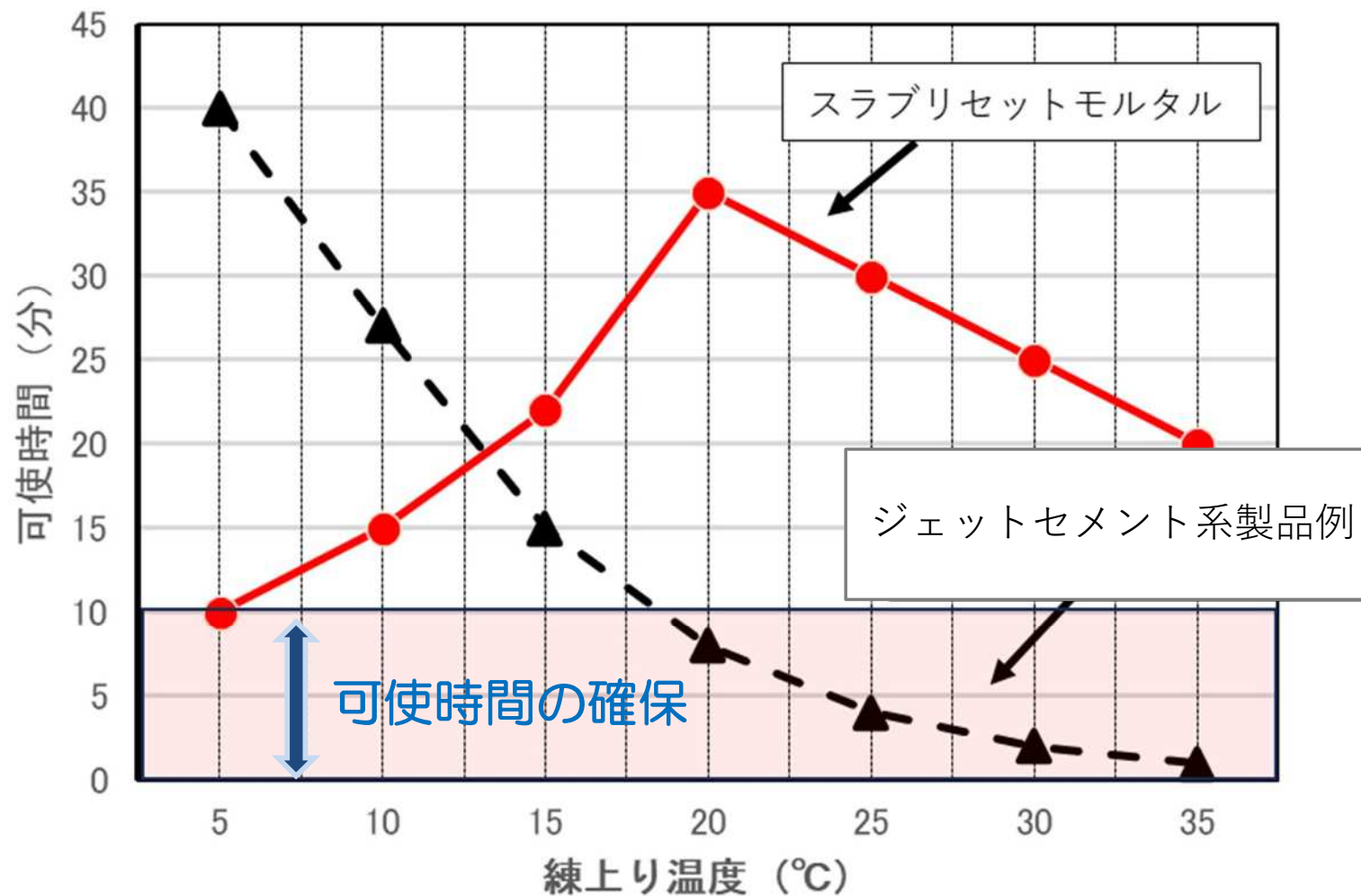
⑤接着性能は水湿しでもクリア

→研り清掃後の乾燥が不要、雨天時でも条件次第で施工が可能

→コンクリート舗装の角欠け、ジョイント部の舗装補修にも使用可能

スラブリセットモルタルの物性

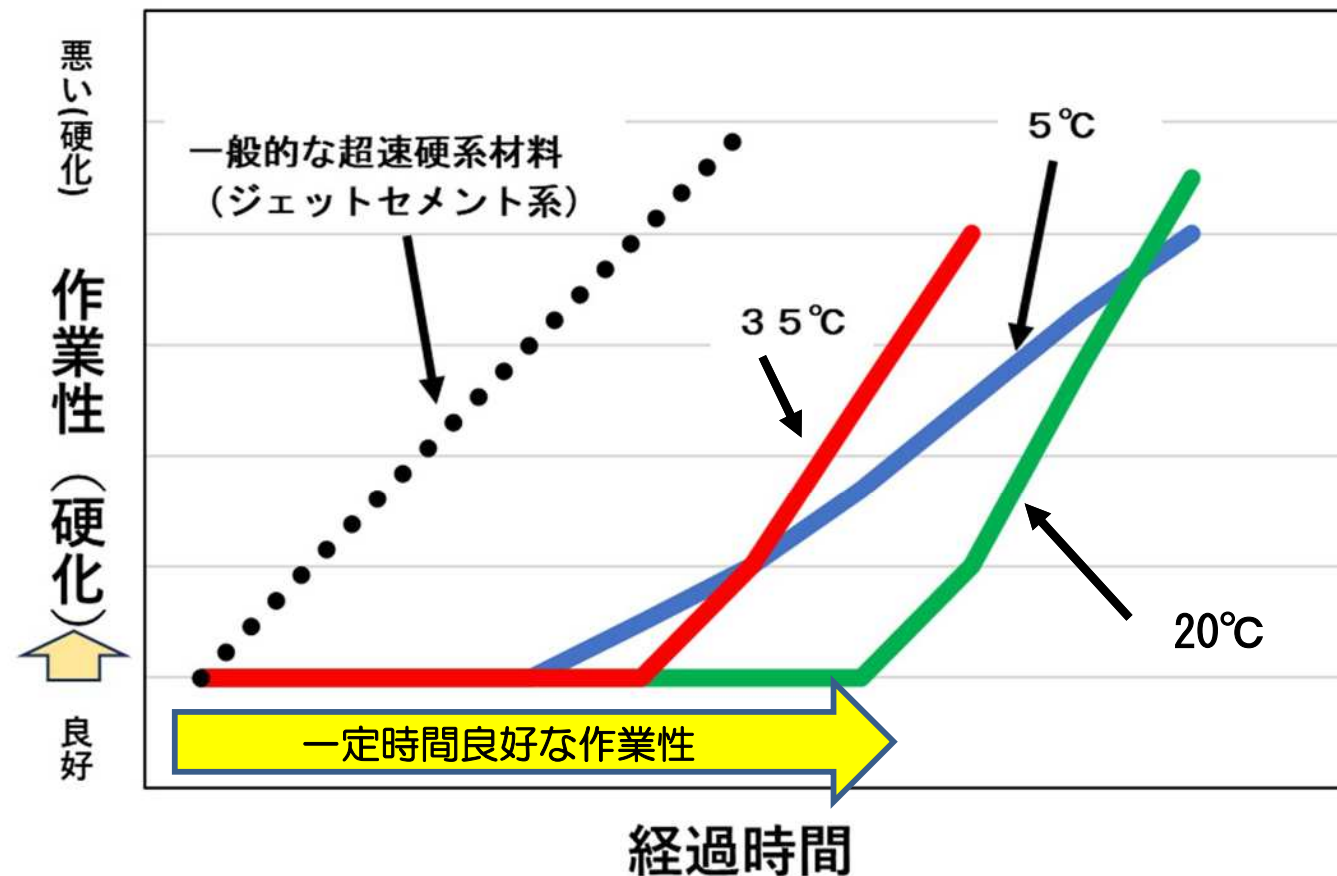
◆各温度における可使用時間（遅延剤添加しない場合）



※上記数値は実地確認の結果であり、製品性能値ではございません。

スラブリセットモルタルの物性

◆作業性と経過時間との関係



打ち継ぎが容易
一定時間良好な流動性



☆コールドジョイントが出来ない

☆バイブレータの使用が可能

隅角部・鉄筋裏まで密実な充填が可能